

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2023年(令和5年)6月1日 会報 第129号

特定非営利活動法人(NPO法人)

## 21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo,Street 608, Toul kok,  
Phnompenh,Cambodia  
(855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



### 久々のカンボジア訪問はサウナ状態の毎日でした

3月16日〜4月12日の4週間にわたり、カンボジアを訪問しました。  
当初3月13日の出発を予定していましたが、航空路線の一部が急に欠航になってしまい、やむなく3日遅れの出発になりました。まだコロナの影響があるようです。  
昨年より訪問回数を少なくした分、滞在期間を約1ヶ月と延ばしました。ですので今年の後半は11月〜12月にかけて訪問する予定です。(変更になる場合もあります)

カンボジアはコロナも収束モードに入り、マスクをしている人を見なくなりましたが、排気ガスや道路の埃がひどいため、気管支が弱い私は結構な時間マスクを着用していました。  
この時期カンボジアは乾季で、滞在中雨が降ったのは1回のみ、それも夕立。1時間で止んでしまい、正に焼け石に水状態でした。

カンボジアは3月〜4月が一年中で最も暑い季節、特に4月になると日中は最高気温40度を超えるサウナ状態でしたが、水分補給しつつ、体を休めながら活動しました。  
アルコール飲料は水分補給にならないと聞いていましたが、カンボジアのビールはアルコール度1%、ほとんど水状態なので、これなら水分補給にもなりそうだと勝手に解釈してよく呑んでいました(笑)。  
猛暑の最中ですが、カンボジアは4月14日〜16日が「クメール正月」、例年ですと公立学校は4月5日から約2週間ほどの短い休みがありましたが、今年は5月にカンボジアで東南アジアスポーツ大会(シーゲーム)が開催されることから、5月17日まで約1ヶ月半の長い休みになりました。コロナ禍で学校の勉強が遅れ気味なのに、民意が反映されない政策に怒りと失望を覚えますが、外国人は門外漢ですから仕方なく納



親しい仲間と「クメール正月」を祝いました

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次  
得ています。  
あと数日で帰国という折に、カンボジアのリアル地「シアヌークビル」で19人の日本人が特殊詐欺の嫌疑で身柄拘束され、日本へ強制送還されるといって、とんでもないニュースが飛び込んできました。こうした事件は両国にとってもイメージを悪くする一因になります。事件の解明が待たれます。  
ともあれ、カンボジアの旅が終わり、子どもたちも元氣、支援とは言いながらも、元氣と勇気をもらっているのは私の方と、今更ながら実感しています。

### 「札幌ポプライオンズクラブ」がカンボジアに小学校校舎を寄贈

昨年10月から建設工事が進められていた小学校校舎がこのほど完成、3月18日、校舎を寄贈した「札幌ポプライオンズクラブ」のメンバー(13人)も加わり贈呈式が盛大に行われた。本会会員も数名出席、地元から教育関係者や村民、生徒たち、約500人が出席した。  
本プロジェクトは、「札幌ポプライオンズクラブ」(北海道札幌市)の創立60周年事業として計画され、本会や現地の小学校と綿密なミーティングを積み重ね、ようやくここに完成の日を迎えることができ、感無量である。  
校舎が完成したのは「トロペアントレアン小学校」(クラチェ県・チュットボレイ郡・トロペアントレアン村、生徒数=250人)。校舎は平屋建ての3教室で、生徒が使用する椅子&机、黒板なども整備された。新校舎ができる前は老朽化した木造校舎が1棟あるのみで、シロアリの被害も出て、旧校舎はボロボロの状態だった。新校舎の完成は、何よりも生徒たちが一番喜んでのことだろう。校舎は2月に完成、今年1月に新学期を迎えた生徒たちは、すでに新教室で勉強を始めている。  
贈呈式に出席するためにカンボジアを訪問した同クラブは、3月17日の夜便で「プノンベン国際空港」に到着、18日の贈呈式に出席後19日はアンコーワット観光など、20日はプノンベン市内観光した後、夜の便で帰国の途についた。



挨拶するライオンズクラブ代表



生徒たちと新校舎の前で

### 「味の素グループ労働組合」が3年4ヶ月ぶりにカンボジア訪問

3月31日〜4月3日、本会と連携して長年カンボジアを支援する「味の素グループ労働組合」(本部=東京都中央区)のメンバー(11人)がカンボジアを訪問した。3年4ヶ月ぶりとなった今回は、コロナ明けして最初の訪問活動だった。  
4月1日には、同団体が前もって遊具類を寄贈した4つの小学校の中から2校を選び、午前と午後に分けて訪問、贈呈式を行った後に生徒たちと交流した。猛暑の中縄跳びしたりバレーボールし、木陰では折り紙やシャボン玉をして交流した。  
その日の夜はプノンベン市内のレストラン「マリス」で食事をし、根岸理事長と現地スタッフが招待された。  
一行は2日にプノンベン市内観光やマーケットでリサーチを行い、3日の午前中にプノンベン郊外にある日本企業の「経済特区」を視察、その日の夜便で帰国の途についた。



生徒たちに折り紙を教える



滑り台で遊ぶ生徒たち

### カンボジアの子どもたちをサポートしてください

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。  
本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。  
思えば78年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。  
※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

里親さんありがとう



【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。  
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

# 現地活動アラカルト

## 出前授業&絵画交流



「ワットコフ小学校」で  
出前授業

## 根谷崎百合子さんが トイレ棟寄贈

3月18日に贈呈式を行った「トロペアントレアン小学校」の校舎に、トイレ棟が併設された。寄贈したのは根谷崎百合子さん(神奈川県在住の里親会員)。18日に行われた校舎贈呈式とともに簡易なセレモニーを行い、生徒たちと完成を祝った。



生徒たちとトイレ棟の前で

## 久しぶりに多くの 里親会員が里子訪問

コロナも収束に向かっている、カンボジアへの渡航制限が撤廃されたことから、3月9日から4月12日にかけて沢山の教育里親会員がカンボジアを訪問、久しぶりに里子に会い交流した。

3月9日〜4月12日の間に里子訪問したのは、次の皆さん。  
※平古場正行副理事長  
※及川英博副理事長  
※佐々木英介理事  
※五井瑞枝里親会員  
※柁川富夫里親会員



4年ぶりに里子と対面した柁川さん

## 村の子どもたちに プレゼント

根岸理事長がカンボジアに滞在中、自らが日本から持参したぬいぐるみ、布製品、文具類などの寄贈品を村で暮らす子どもたちに届けた。皆とても喜んでいました。



ぬいぐるみをプレゼント

## 五井瑞枝さんが カンボジアを2度訪問



里子訪問した五井さん(左)

神奈川県在住の里親会員、五井瑞枝さんは、タイのチェンマイにも住まいを構えているが、幸いカンボジアに近いことから、3月14日〜23日と4月3日〜9日の二度カンボジアを訪問し、本会の活動に参加してくれた。

特に後半は、現地スタッフとともに4日間里子訪問しお手伝いしてくれた。9日には、スラム街での古着等配布活動にも参加してくれた。ボランティア活動ありがとうございました。

## 末松和三さんが カンボジア訪問

3月18日〜23日、末松和三さん(東京都在住の個人会員)がカンボジアを訪問した。

諸用を兼ねていて、本会との合流は19日の里子訪問のみだったが、有意義な時間を共有することができた。他の日は、お仕事の関連で「サンライズジャパン病院」等を視察した。



里子訪問に同行した末松さん(右)

## 佐々木英介理事が カンボジア訪問



プノンペン市内のスラム街で子どもたちと

3月14日〜23日、佐々木理事(東京都在住の里親会員)がカンボジアを訪問、小学校校舎贈呈式、里子訪問、出前授業、美術教育指導など、様々な活動に参加した。

佐々木理事は、カンボジア入国前にベトナム、出国後はタイを訪問するなど、3ヶ国を歴訪し見聞を深めた。

## 平古場副理事長と及川副理事長が カンボジア訪問

3月9日〜22日、平古場副理事長と及川副理事長がカンボジアを訪問、小学校校舎の贈呈式に出席したり、出前授業や里子訪問を行った。平古場副理事長は、プノンペン郊外に新設された新国立競技場に3日間通い、カンボジア選手の柔道指導を行った。

小学校校舎の贈呈式では、カンボジアの子どもたちへの長年にわたる教育支援活動が評価され、カンボジア政府より感謝状が授与された。



カンボジア政府から感謝状

## 柁川富夫さんら4人が カンボジア訪問

3月24日〜4月1日、柁川富夫さん(埼玉県在住の里親会員)を含む4人のメンバーがカンボジアを訪問した。

25日は、柁川さんが教育支援する2人の里子の自宅を訪問し、コロナを挟んで4年ぶりに涙の対面を果たした。お米などのプレゼントを差し上げた。

26日はプノンペン市内観光を楽しみ、27日は柁川さんが2年前に井戸を寄贈した小学校を訪問し、井戸の性能点検を行った。問題なく豊富な水が出ていた。

猛暑のため日陰のない校庭を避けて生徒全員を一つの教室に集め、メンバーが日本から持参した学用品や古着などを生徒たちに届けた。

28日〜4月1日は、シムリアップでの観光とスラム街で学用品等を配布するなど精力的に活動した後、1日に帰国の途についた。



寄贈した井戸を囲み、  
カンボジア訪問した4人のメンバーと

## 在カンボジア日本大使館を 表敬訪問

3月20日〜21日、本会が協力した「失われたクメール美術教育復活プロジェクト」の実施に当たり、在カンボジア日本大使館も間接的に応援してくれたことから3月24日、関係者とともに根岸理事長が日本大使館を表敬訪問した。

日本大使館では二等書記官が対応してくれ、カンボジア情勢等についてしばし懇談の時を持った。



日本大使館を訪問



シアン・ブンレン内務省大臣を訪問

3月26日、カンボジア政府内務省の大臣クラス、シアン・ブンレン閣下ご夫妻の自宅を根岸理事長が表敬訪問した。大臣閣下は本会のアドバイザーとして、カンボジア政府とのパイプ役を務めていただいております。3月18日に行われた小学校校舎贈呈式に協力してくださったお礼を兼ねての訪問だった。



## 里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの影響で、カンボジアへの渡航回数が少なくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、年2回程度になりますが、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

### 現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。  
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

## 里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(25校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

4月3日~4月11日の間に2月分と3月分を、2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各学校を回り、教育支援金と里親さんからのプレゼントなどを届けた。

今回は、根岸理事長始め数名の会員さんが現地スタッフに同行し、配布の手伝いを行った。



教育支援金を届ける



里親さんからのビデオレターを聞く里子

「競技大会」がカンボジアで開催されたため、4月5日~5月17日までの約1カ月半、長い休暇になった。授業の遅れが懸念されている。オンライン里子訪問を希望される方は事務局に連絡を。

203-3991-2854

## クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在253人(3月末日)の子どもたちを教育支援している。

カンボジアの公立学校は今年から新学期が始まり、里子たちも元気に通学している。今年は例年のクメール正月に加え「東南アジア」がカンボジアで開催されるため、4月5日~5月17日までの約1カ月半、長い休暇になった。授業の遅れが懸念されている。オンライン里子訪問を希望される方は事務局に連絡を。

## 投稿 カンボジアの教育制度2~日本との違い~ 「新型コロナウイルスが教育へもたらした影響」

理事・佐々木英介(東京都在住、里親会員)

皆さんの中には里親支援をされている方も多くいらっしゃると思いますが、きっとその生徒たちがどのような教育制度の中で学校へ通っているのかも気になることでしょう。以下、主な項目を日本と比較してみました。

	カンボジア	日本
教育制度	6・3・3制	6・3・3制
義務教育	中学校までの9年間	中学校までの9年間
授業料	義務教育期間内は無料だが制服や学用品などは保護者負担	義務教育期間内は無料だが制服や学用品などは保護者負担
授業	週6日(月曜日~土曜日) *注1	週5日(月曜日~金曜日) *注2
授業時間	午前と午後の2部交代制 *注3	午前と午後の授業
入学試験	基本的に行われない 私立高校では行われるところもある	私立の小・中学校では行われることが多いが公立では基本的に行われない 高校では一般的に行われる
定期試験	毎月の小テストのみ	小学校では毎月小テストが行われ、中学・高校では各学期に中間試験と学期末試験が行われる *注4
卒業試験	中学・高校では通常行われる *注5	基本的に行われない
学期	2学期制 10月~4月上旬と4月下旬~7月	3学期制 4月~7月20日頃/9月初旬~12月20日頃/1月上旬~3月中旬
長期休み	小休み(4月6日~19日) 大休み(8月1日~9月下旬)	春休み(3月中旬~4月初旬) 夏休み(7月20日頃~9月初旬) 冬休み(12月20日頃~1月上旬)
休日	国で定めた祝祭日	国で定めた祝祭日

\*注1 国語・算数・歴史・理科が中心で、音楽や美術や体育の科目はほとんど行われない。

\*注2 土曜日の授業を再開した学校も増えてきている。

\*注3 午前の部と午後の部で生徒の入れ替えが行われる。内戦後に学校や教員が不足していた影響がまだ残っており、現在でも約7割の小学校、約2割の中学・高校が交代制を続けている。

\*注4 小学校では毎年2回全国学力テストが行われているが、それらは生徒個人の成績だけでなく各学校の教育指導を比べる目的も持っている

\*注5 中学卒業試験に合格した進学希望者は、居住地によって進学できる高校が決まる。また就職の他、一般教育、職業教育へ進学するルートもある。

・高校卒業試験の場合、合格者は一般教育の大学や4年制の職業訓練校などの入学資格が与えられる。また不合格であっても2年制の職業訓練校ならば留年せずに入学が認められる。

・卒業試験の為に、授業料を払える中学生のほとんどは空いた時間に塾や私立学校へ通っている。

### カンボジアの祝祭日

1月1日	元日	旧暦雨期入	王室始耕祭
7日	解放記念日	6月18日	モニク前王妃誕生日
2月	中国暦の旧正月	9月24日	憲法記念日
3月8日	国際女性の日	9月または10月	プチュン・パン(お盆)
4月中旬(4日間)	クメール正月	10月15日	前国王記念日(命日)
5月1日	メーデー	29日	シモハニ国王即位記念日
14日	シモハニ国王誕生日	11月(満月前後3日間)	水祭り
旧暦3月満月	仏誕節	9日	独立記念日

## 失われたクメール美術教育復活プロジェクト

3月20日から21日にかけて、本会が教育支援する「ソムプール小学校」(コンボンスプー県・生徒数=350人)において、日本の団体による「絵画指導」が行われた。

「失われたクメール美術教育復活プロジェクト」と称し、「アジアデザインアート展覧会コンソーシアム」(代表=藤沢忠盛~昭和女子大学准教授)が主催、本会は同プロジェクトの計画段階から参与し、実施に当たっても小学校の選定等で全面的に協力した。代表の藤沢准教授は本会の教育里親会員。

今回の生徒対象を1年~3年の低学年(150人)に絞り、主催団体が絵具と画用紙等を教室に持ち込み、主にカンボジア人学生が絵画指導に当たった。

21日には、プノンペン市内の「CJCC~きずなホール」において、前日に生徒たちが描いた作品展示と再び絵画指導が行われ、「ソムプール小学校」の生徒20人が参加した。

カンボジアの小学校には美術の授業を行っている小学校が少なく、特に今回は低学年生徒が対象だったため、初めて絵を描いた生徒が大半だった。絵を描く喜びを知ったに違いない。



初めて絵の具で描きました



描いた絵画をホールに展示

## スラム街で暮らす子どもたちに古着配布



古着やぬいぐるみを配りました

4月8日、前日にカンボジア入りした土橋傑さん(神戸市在住の会員)とその友人が、日本で集めた古着等を、プノンペン市内のスラム街で暮らす子どもたちに配布した。

カンボジアに滞在中の五井瑞枝さん(神奈川県在住の里親会員)が、終日手伝ってくれた。カンボジアの子どもたちはすでにお正月休みに入っていて、大勢の子どもたちが迎えてくれた。

段ボール10箱の古着等は、前もってに日本からカンボジアに、船便で運ばれたもの。当日はプノンペン市内3ヶ所のスラム街を回った。思わぬプレゼントをもらった子どもたちは、とても喜んでいました。

## 投稿 子どもたちを訪ねて

梶川富夫(埼玉県在住、里親会員)

3月24日~4月1日、カンボジアを訪問しました。

理事長始め現地のスタッフの方々のお陰で、私たち4名は大変有意義に過ごすことができました。本当にありがとうございました。

私は4年ぶりに里子(バーン・スレイネートちゃん)と再会。当時は小学4年生、現在は中学生になりました。小さな女の子が大きく成長、久しぶりの再会に二人で涙。将来の夢は学校の先生とのこと、楽しみにしています。

次に里子(メン・ソナック君)の家を訪問。サッカーボールや学用品、お菓子等をプレゼント、大変喜んでくれました。今後の将来が楽しみです。

それから、私が2年前に井戸をプレゼントした小学校を訪問、喜んで使用しているのか、美味しい水を飲んでいるのか、様子を見たかったです。子どもたちは両側に並び、合掌しながら私たちを温かく迎えてくれました。

それから子供たちは一勢に井戸まで駆け寄り、井戸を使ってくれました。その喜びよう、井戸をプレゼントして良かったと思いました。

それから私のスピーチ後、学用品、サッカーボール、古着等をプレゼントしました。また、子どもたちの将来の夢を聞きました。医者や学校の先生が多かったです。カンボジアの将来が楽しみです。子どもたちの笑顔が見られて本当に良かったです。また、カンボジアの子どもたちに会いに行こうと思っています。



文具、サッカーボール、古着をプレゼント

本会の会員状況をお知らせいたします

(2023年3月末日現在)

●教育里親会員	191名
●個人会員	70名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	61名
合計	332名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



**活動に参加しませんか**  
正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)  
子どもたちへ直接払う年額  
1万2千6百円(42%)
- 会の運営に回す年額  
1万7千4百円(58%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

**寄付金**  
当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。  
\* \* \* \* \*  
会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】  
21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】  
019支店 当座 01600916

【りそな銀行】  
練馬支店 普通 40998235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～第32回 東南アジア競技大会～

カンボジアで第32回東南アジア競技大会(The 32nd SEA Games.)が5月5日～17日まで開催されます。続いてパラリンピックも開催。競技会場はプノンペンとシェムリアップ州、シアヌークビル州、カンポット州、ケップ州の5ヶ所。

開催される競技は37種で、カンボジアのウックチャクトラン(チェス)、クンボカトル(古代の戦場武道)、クンクメール(格闘技)の伝統的なものが加わっています。

この大会には味の素株式会社が協賛しています。フン・セン首相はこの大会での外国放送の放映権料を無料とし、入場チケットもカンボジアと外国人にも無料の大盤振る舞いです!

国際舞台でのカンボジアの名声を高める目論みです。更には全国の公立及び私立の学校の4月20日から5月18日まで29日間の長期休学も宣言。学業の遅れが懸念されますが強行します。

4月上旬からはクメール正月(4月14日から16日)前から学校は休学状態ですので、合わせると1カ月半の長々期休学になります。本当に学業の遅れが懸念されます。ともかくカンボジア頑張れ!!!

※東南アジア11ヶ国＝カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム、ミャンマー、シンガポール、マレーシア、フィリピン、ブルネイ、インドネシア、東ティモール



写真出典: Khmer Times

理事・里親会員

鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

事務局便り

十数年来、カンボジアの子どもたちを教育支援しておられる石川桂さん(愛知県安城市在住)が2月に、高齢者叙勲(瑞宝双光章)を受章されました。おめでとうございます。米寿(88歳)を迎えられた石川さんの益々のご活躍と、ご健康をお祈りいたします。

新型コロナウイルスによるカンボジアへの渡航制限が全て撤廃されましたので、3月9日から4月12日にかけて、役員含む多くの会員がカンボジアを訪問しました。その様子を会報等に逐次報告させていただきます。

カンボジアのシアヌークビルで、日本人の特殊詐欺集団(19人)がカンボジア当局により拘束、日本に移送中の機内で逮捕されました。フィリピンに続きカンボジアが詐欺集団の拠点になっていたことに衝撃を覚えました。これにより日本とカンボジアの信頼関係が壊れることのないよう、祈るばかりです。

カンボジアは4月が一年中で最も暑くなる時期、日本はこれからジワジワと暑い夏に向かっていきます。体調管理に気を配り、熱中症対策をお願いいたします。

第21回定期総会をオンラインで開催

3月11日(土)、第21回定期総会をオンラインで開催、Zoom画面上に12名の会員が出席してくれた。

会員総数274名(2022年12月31日現在)、総会前日までに事務局に届いた委任状(表決権行使書含む)が141通あったので、総会議決に必要な過半数(137名)を上回り、定期総会が成立した。

総会の議題は、2022年度活動報告及び決算報告、2023年度活動計画及び活動予算の4議題、役員改選は行われなかった。

議長を務めた根岸理事長から、前以て郵送した定期総会資料に基づき、各議題ごとに詳細な説明をなし、その結果全ての議題が承認可決された。

総会終了後は出席会員相互の親睦交流をはかった。



オンラインで開催

事務局よりお知らせ

3月11日の「定期総会」で審議されました活動計画について、補足して説明致します。



●「学用品支援募金」

従来の「お年玉募金」に代わるものとして、今年から新たに設定しました。会員がカンボジアで学校訪問する際に、生徒へのプレゼントとして現地で学用品を購入する費用に充てます。※募金する期間は毎年4月～7月です。

●「里子プレゼント推進月間」

里子へのプレゼントは随時・随額で実施しておりますが、更に加えて推進月間を設けました。※推進月間は毎年6月です。

オンライン情報交換会を毎月開催



オンラインで開催

本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をオンライン(Zoom)で紹介する「カンボジア情報交換会」を、原則毎月第1又は第2土曜日の10時～11時半に開催している。3月は役員を始めとする多くの会員がカンボジアを訪問したため中止となり、4月は22日(土)に開催した。

5月以降は、原則第2土曜日に戻り開催する予定。(5月13日、6月10日、7月8日)

入場・退場は自由なので、お気軽に都合良い時間帯にご参加を。(参加希望者にはZoomのIDとパスワードを事務局より事前に送ります)



教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
	〒		(TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [ ] 人				
	2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも				
	3. その他 [具体的に]				

\*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。